

平成 26 年度定期総会開催

平成 26 年 5 月 11 日 (日) 14:00~17:00、読売プラザホール (読売新聞西部本社 1F) にて第 8 期定期総会を開催いたしました。会員総数 200 名のうち、出席者 60 名・委任状 67 名、総数 127 名で、第 1 号議案から第 6 号議案まで、藤本議長の進行のもと審議いたしました。

H25 年度は会の活動も共働事業を通じて活発となり、実績を重ねた結果、福岡県防災賞 (団体部門) を受賞しました。会場には賞状が受付に飾られ、みんなで喜びを共感しました。

総会議事では、「災害ボランティアとしての活動を今後どう考えるのか？」など前向きな活動方針を問う質疑が出るなど、今までにない活発な総会となりました。総会後には研修部会からの提案で NHK のお天気番組に出演されている吉竹顕彰様の講演を聞き、その後懇親会を行い、楽しい時間を共有いたしました。

共働事業は平成 25 年度で終了しましたが、今後も防災危機管理課とタイアップし出前講座は引き続き行うことも決まりました。また、地域活動アドバイザーとして福岡市に登録されましたので、各区役所の地域支援課と連携を取り、地域密着型講座の開催が新たに始まります。

福岡市防災危機管理課からの出前講座の講師依頼、地域支援課からの地域活動アドバイザーの講師依頼、福岡県教育委員会からの防災教育アドバイザーとしての委嘱事業、そして個別案件の講師依頼と活躍のステージは揃っております。みなさんどうぞ積極的に会の活動に参加され、みんなで地域防災力向上につながる活動を継続的に行いましょう。そして共感できる仲間を増やし、楽しく明るい団体をみんなで作りましょう。

(代表幹事 小森勝輝)

<平成 26 年度 役員>

代表幹事 (会長) 小森勝輝 (博多支部 1 期) 代表幹事 (副会長) 上野直美 (城南支部 1 期)
代表幹事 (副会長) 東島弘 (西支部 2 期) 事務局長兼企画部会長 平山光典 (中央支部 7 期)
会計 牧菌典浩 (城南支部 4 期) 交流部会長 檀 豊隆 (南支部 6 期)
研修部会長 正本博士 (西支部 4 期) 広報部会長 藤本 潔 (早良支部 5 期)
監査：岩佐明美 (博多支部 1 期) 宮本雅信 (早良支部 1 期)
顧問：竹原隆二 (福岡市市民局防災・危機管理課長)
：安武逸郎 (福岡市こども未来局子育て支援課長)
：田上賢祐 (読売新聞西部本社広報宣伝部長)

支部役員

幹事：東支部 城下邦芳 (8 期) 松嶋慧一 (1 期) 中野健司 (9 期)
幹事：博多支部 坂之下輝雄 (7 期) 山口公子 (5 期)
幹事：中央支部 榊 勲 (6 期) 米倉雅子 (7 期)
幹事：南支部 森永日出男 (2 期) 万善一三 (6 期)
幹事：城南支部 橋津千穂 (1 期)
幹事：早良支部 松本一郎 (8 期) 鹿毛勝昭 (2 期)
幹事：西支部 竹尾宗二 (1 期)

地域活動アドバイザー活動報告

東支部：ふよう香椎浜ハイツ

7 月 30 日 (水) ふよう香椎浜ハイツ集会所で開催された「ふれあいネットワーク」のお年寄り防災研修に参加しました。

この地域では、もっとも必要な備えは地震対策という認識があり、地震の知識を深め、避難者の立場から HUG を通して避難所運営への関わり方を学ぶという目的がありました。

「今まで考えもしなかった事ばかりで、諸問題があることがよく分かった」「自分の責任で出来ることを考え行動し、避難所運営に前向きに協力する意識が必要で、その為にもどのような役割があるかを知っておく必要がある。また訓練を重ねることも大切だ」と意識が高まった感想が聞かれました。
(東支部 城下邦芳)

西支部：羽根戸町町内会

町内会から防災訓練を何かやりたいと地域支援課に要望があり、関係者と打ち合わせをした結果、7 月 6 日 (日) に HUG を実施しました。HUG で使用する避難所は、実際の町内の小さな避難所とは大きさが違うということで、感覚的に若干ズレもありましたが、運営を演習することが目的のため HUG カードを使用しました。

意見交換では、「役割分担や指示ができる人を決めないと大変だ」やトイレ問題等があがり、避難所運営の難しさを実感してもらえ、あっという間の 90 分でした。
(西支部 東島 弘)



早良支部：飯倉中央公民館、室見公民館

6 月 28 日 (土)、29 日 (日) 飯倉中央公民館にて 5 版に分かれて HUG を行いました。参加者からは「避難所での様々な避難者への対応について勉強になった」「災害時には地域住民が協力して助け合うことの大切さを実感できた」との声がありました。

7 月 12 日 (土) には、室見公民館にて 6 班に分かれ、当該校区が室見川と金屑川にはさまれた立地条件であることから、水害をテーマとした DIG を行いました。

「地域の強みや弱みを再認識することができた」「指定避難場所が遠い地域では、避難場所として活用できる高層マンション住民とのコミュニケーションづくりに日頃から積極的に取り組む必要があると感じた」「このような訓練は繰り返し行う必要があり、今後も継続したい」との声をいただきました。

(早良支部 松本一郎)



城南支部：南片江公民館

7 月 13 日 (日) 南片江公民館にて住民約 30 人が 5 班に分かれて HUG を行いました。小学校 4 年生から 6 年生の 7 人編成の班がありましたが、想定した以上に意見が活発に出ていました。

「早い段階で運営本部を設置し、避難者管理、備品・物資管理、要望集約、情報共有等を行わなければならない、そのためには適性に合った役割分担や、医療関係者や民生委員などの手助けが必要だろう」など、避難所運営の大変さを感じた意見が聞かれました。

(城南支部 所 克博)

九州大学DIG報告

5月21日(水)、九州大学伊都キャンパスでDIGを行いました。

40名の今年度新入生が8グループに分かれ、伊都キャンパス敷地・建物図を使い、地区の特色を考えた後に、地震体験後の時間経過を追った行動と、それが実際に出来るかの評価を行いました。最後には、自分達ができる避難の時の事前対策を発表してもらいました。

最初は大人しかった学生も、一つ例が出るとみな積極的に意見が出てきました。

学習を終えた学生達が今後のキャンパス生活で、今回学んだことを周囲の友人や学生に拡げてくれる事でしょう。

出席者：メイン(城)上野

サブ(東)松永(博)坂之下、岩佐、窪田(中)平山、米倉(南)堀田

(早)藤本(西)東島、江崎、

(博多支部 窪田哲郎)



消防団OB・防災士等スキルアップ研修会報告

8月2日(土)春日市のクローバープラザで開催された「消防団OB・防災士等スキルアップ研修会」に参加いたしました。

主催は福岡県消防防災指導課で、実施は業務委託を受けた(一財)消防科学総合センターが行いました。

本研修会は、福岡県内の消防団OB及び防災士を対象に、自主防災組織の運営や防災知識・技術を身に付け、指導員として養成するとともに、消防団と自主防災組織の連携を促進するためのパイプ役となり、地域防災力及び地域の結束力の向上を図ることを目的に実施されるものです。

まずは自主防災組織について、基礎知識や自主防災組織が抱えている諸問題及び市町村が抱える問題などを挙げ、その中で消防団OB、防災士が自主防災組織とのパイプ役となり、1+1が2以上になるよう、総合的な「地域防災力」向上の必要性を話し合いました。

また、近年多発している風水害に対するHUGを行い、刻々と変わる防災情報の扱いなど、新しい発見のある有意義な講座でした。

グループ討論では、消防団OBと防災士とが活発な意見交換を行い、お互いの防災に対するの不得意分野の見識を広げる事が出来ました。

(南支部 森永日出男)



支部紹介～ リレー第6走者は中央支部です ～

中央支部の会員構成は、1期生3名、2期生4名、4期生1名、6期生3名、7期生7名、8期生と9期生が各1名の合計20名です。

これまでの支部活動は、共働事業のお手伝いや各支部の応援などが多かったのですが、中央区役所総務課と定期的に情報交換等を行い、連携を強化した結果、区の防災訓練、行事参加や自主防対象にHUGの実施など、公民館や地域からの要請がよせられ、地元での防災活動が出来るチャンスが多くなりました。各支部からの応援を受けながら、広く地域に密着した活動を行っています。

中央支部会は「あすみん」で、今年度から奇数月の最終火曜日19時から開催しています。7期生を中心に支部活動を行っていますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(中央支部 榊 勲)



トピックス

出前講座(共働事業)

6月5日 玄界小学校 DIG・クロスロード 受講者7名 参加者7名

7月23日 愛宕公民館 親子防災術 受講者13名 参加者2名

地域アドバイザー

6月28日 早良区 飯倉中央公民館 飯倉中央校区自主防災・防犯会 HUG 実施
受講者60名 参加者8名

6月29日 早良区 飯倉中央公民館 飯倉中央校区自主防災・防犯会 HUG 実施
受講者60名 参加者8名

7月16日 西区 羽根戸集会所 羽戸町内会 HUG 実施 受講者30名 参加者6名

7月12日 早良区 室見公民館 室見校区自主防 受講者68名 参加者8名

7月13日 城南区 南片江公民館 南片江町内会 HUG 実施 受講者29名 参加者6名

7月25日 西区 壱岐東公民館 壱岐東社協 HUG 実施 受講者45名 参加者9名

7月27日 西区 吉武集会所 吉武町内会 HUG 実施 受講者20名 参加者5名

7月30日 東区 ふよう香椎浜ハイツ集会所 ふれあいネットワーク 受講者18名
参加者5名

交流会(予定)

9月5日 第1回交流会「古地図に見る博多の防災」西支部 正本氏

博多あん・あん塾 10期生 6月11日～9月14日

(中央支部 平山光典)

編集後記 2014年の不順な夏は、広島を始め全国各地で多くの犠牲者を出しました。自分たちが学び実践してきたことが、その場で役立てることができるだろうか?と考えさせられました。～釜石の軌跡を産んだ群馬大学の片田敏孝先生の避難三原則『想定にとらわれるな、最善を尽くせ、率先避難者たれ』 (西支部 竹尾 宗二)